



■子どもの行動の例

- ・おもちゃの取り合いをする。



例) 遊んでいる場面 ■うちの子のできているところを探しましょう！

	できる	時々できる	できない
仲よく遊び始める	●		
仲よくできる時間がある	●		
優しい言葉使いで話している		●	
静かな時間がある		●	
「かして」が言える	●		
「ありがとう」が言える		●	



子育てヒント

「お兄ちゃん(お姉ちゃん)が貸してくれない」などと下の子の「訴え」や「泣き声」で親は、子ども達のところ駆け寄って「お兄ちゃん(お姉ちゃん)なんだから貸しなさい」などとけんかの仲裁をしたことがあるのではないのでしょうか？きょうだいで一緒に遊ぶ時間が多くなると、ケンカやトラブルが起きる可能性は高くなります。

おもちゃの取り合いをするようになったら「仲よく遊ぶ」ことをきょうだいで学ぶチャンス！

今回の例題の場合、「仲よく遊んでいる時間」があるようですが、このような時に子どもの行動を見みると、子どもの嬉しい成長を発見できることがあります。親は見逃すことなく子ども達に注目している気持ちを伝えたり、具体的に認め(ほめ)ることが大切になるでしょう。



例題の「おもちゃの取り合いをする」で考えてみましょう。

■前向き子育てのコツ **子どもに注目している気持ちを伝える**（「子育て手帳」P.21を参考にしましょう）

本当に、最初からケンカをしているのでしょうか？二人で仲よく遊んでいる時はないでしょうか？
仲良く遊んでいる時こそ親が子ども達に対して注目している気持ちを伝えましょう。



【注目している気持ちを伝える方法】・微笑み・OKサイン・背中をポンとたく・ちょっと見る

注目していると伝えることと「ほめること」と重なって、どんな行動が好ましく正しいかを子どもに教えることになります。子どもに好ましい行動が身についた後も時々注目続けることで、子ども自身が好ましい行動を確認でき自信にも繋がります。

例1) ・妹とあそんでいる。→台所から「OKサイン」。

例2) ・妹とあそんでいる→子ども達に近づいて「グッドサイン」して「二人で仲よく遊べているね」

※子どもが友達と遊んでいる時に、妹へ優しくしてくれた場合、人前だからと、ほめることをためらうこともあるかと思いますが、そのような時は「好ましい」と思っていることを伝える微笑み・OKサインなどが役立つでしょう。

■前向き子育てのコツ **ルールをつくる**（「子育て手帳」P.32を参考にしましょう）

子どもが、何が期待される行動か、どう振る舞えばいいかを知るためには、ここまでという限度が必要です。シンプルな基本ルールが役に立ちます。ルールは何をするかを教えるもので、何をしないかを教えるものではありません。また、お兄ちゃん（お姉ちゃん）だけが守るものでなく、きょうだいのルールです。

子どもと一緒に家庭のルールを作りましょう。

【家庭のルールの例】

○おもちゃを一緒に仲良く使う

✕おもちゃを取り合いしない



※「二人で一緒にいる」「仲よく遊び始めている」「ルールが守れている」時などに具体的にその行動を認め（ほめ）ましょう。守れない時には「前向き子育て定期便6月号」で紹介した「問題に応じた結果で対応する」を活用する方法もあります。

※「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。



今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業（責任者 福岡県立大学 江上千代美）

無断複写・複製を禁ず